



# ふくしの びろば

鹿児島

ふれあいネットワーク  
<http://www.kaken-shakyo.jp/>

第176号  
平成23年9月1日号発行



第60回児童福祉施設球技大会(本文9ページ)

## 地域福祉部情報

ゆいネットワーク互助事業 ..... 2

### 《地域と共に手をつなぐボランティア》

東日本大震災(福島県)の支援活動 ..... 3

## 長寿社会推進部情報

元気高齢者チャレンジ推進事業 ..... 4

かごしまねりん大学が始まります ..... 4

ねりんピック2011熊本大会 ..... 5

「ロコモ」とは何ですか? ..... 6

福祉サービス運営適正化委員会 ..... 7

## 福祉人材・研修センター情報

福祉の職場 就職面談会 ..... 8

## 施設福祉部情報

宮城県南三陸町に福祉専門職を派遣 ..... 9

第60回鹿児島県児童福祉施設球技大会 ..... 9

## 介護実習・普及センター情報

介護講座のご案内 ..... 10

排泄ケア ワンポイントアドバイス ..... 10

### 《県共同募金会からのお知らせ》

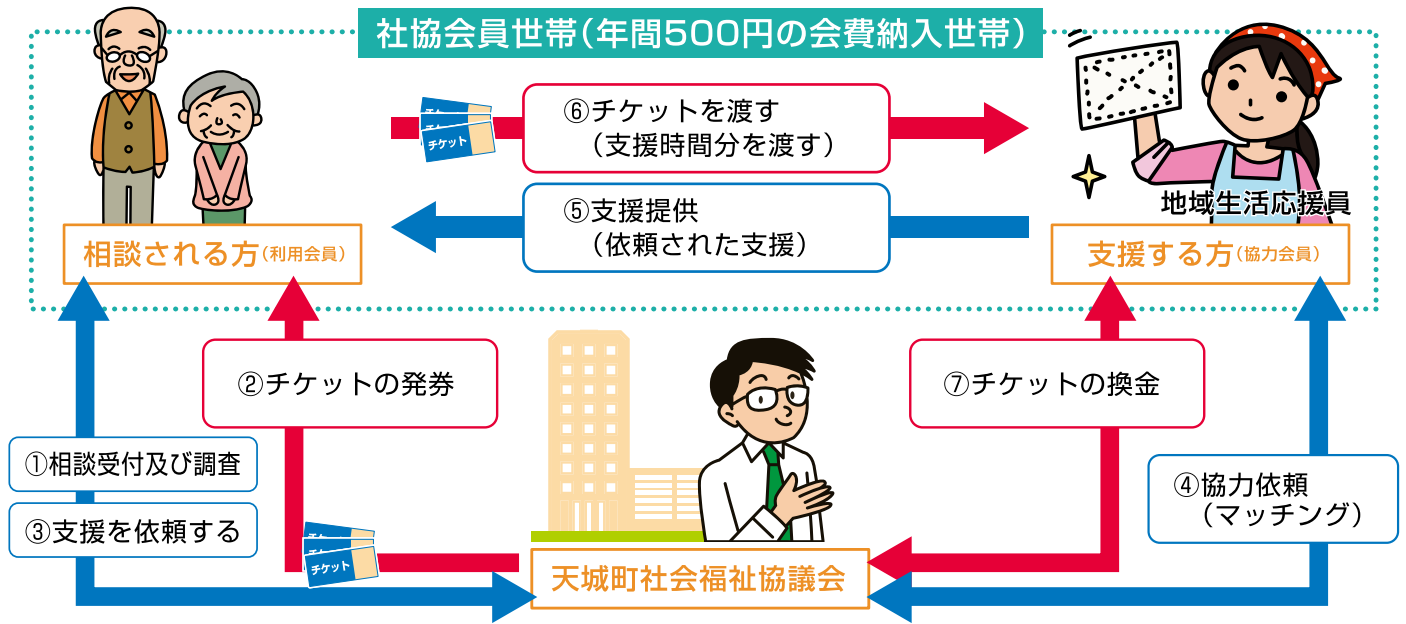
赤い羽根共同募金運動が始まります ..... 11

インフォメーション ..... 12

# ゆいネットワーク互助事業

～天城町社会福祉協議会～

要介護者等(支援を必要とする高齢者や障害者、生活弱者等)が住み慣れた地域で生活する上で、介護保険や各種公的サービスなどでは対応が困難な事などを、地域住民『地域生活応援員』が、顔の見える近隣地域で支え合うというボランティアで支援する仕組みです。



## サービス内容

- 簡単な調理、食事の世話
- 電球交換
- 衣類等の洗濯、掃除、整理整頓
- 窓ふき、大掃除
- ゴミ出し
- 布団干し
- 草むしり、庭木の伐採等
- 簡易な家屋補修
- 郵便物投函、小包発送
- 話し相手(傾聴)
- 買い物支援(頼まれた物を)
- 軽易な身の回りの世話
- 外出時の付き添い
- 軽易な手続き支援
- その他(要、相談)

介護保険や公的サービス等が利用可能な場合は、そちらを優先とします。



## 登録料・利用料

### 利用会員

- ◆初年登録料…1,000円
- ◆登録更新料…1,000円
- ◆利用券(1枚)…300円
- ※利用券1枚で30分支援できます。
- ※原則10枚綴りで購入となります。

### 協力会員

- ◆初年登録料…500円
- ◆登録更新料…500円

※チケットの発券・換金は1枚10円の手数料がかかります。

## 実施状況(平成23年6月30日現在)

実施開始:平成22年11月1日  
 地域生活応援員数:52人  
 利用会員数:16人  
 23年度利用回数:258回(23年度)  
 支援内容:窓拭き、庭の草取り、仏壇の掃除・  
 花の取り替え、洗濯、簡単な調理・見守り



## 事業効果

天城町社協では、介護保険などの公的サービスで対応できない、要介護者の日常生活の課題を支援するために、平成22年度にこの事業を開始し、利用件数も日増しに増加しています。

利用者や遠くに離れた利用者のご家族からも【ありがたい】【心強い】【住みやすい地域ができて安心】などの評価をいただいています。近隣地域が一体となって支え合う、こうした住民参加による活動が今後の地域福祉推進の大きな力となります。

# 一日も早い復興を願って 東日本大震災(福島県)の支援活動

## 全国の社協職員が被災地で支援

鹿児島県社会福祉協議会は、「九州ブロック社会福祉協議会災害時相互応援協定」及び全国社会福祉協議会の応援要請に基づき、震災発生時の3月25日から8月末日までの長期にわたって、県下各市町村社協と連携して、福島県の田村市の避難所での支援を皮切りに、新地町・いわき市の災害ボランティアセンターの立ち上げと運営支援に取り組んできました。



### 社会福祉協議会による職員派遣

九州ブロック社協は、全社協の応援要請に伴い、福島県の支援ということで田村市や新地町・いわき市の災害ボランティアセンターの立ち上げとその運営支援に取り組んできました。

これまでに、本県からも16クール36名(市町村社協職員19名、県社協職員17名)を派遣しました。

また、生活福祉資金貸付においても、緊急小口資金の特別貸付のため4月2日から28日までに郡山市で貸し付け業務に10名(市町村社協職員2名、県社協職員8名)を派遣しました。



### 派遣者の感想(学んだこと)

- 災害ボランティアセンターの設置マニュアル作成とその訓練の定期的な実施の必要性を痛感した。
- 被災地の方々や全国各地から参加するボランティアとコミュニケーションをとることで、人間のすばらしさや心の強さ・絆の大切さを学んだ。
- ボランティアの神髄を学ぶことができた。わが町のボランティア育成に活かしたい。
- 「被災地の現状は他人事ではない。」と思った。災害に強いまちづくりをめざして県内の社協が連携しながら住民主体の地域福祉活動の促進、災害時に備えたボランティアの養成などの取組を積極的に進めたい。
- 復興は緒についたばかりである。今後とも支援していきたい。



現在、避難所から仮設住宅や賃貸住宅等への移転が進み、災害ボラセンの役割も緊急的支援から復興支援の役割に移行してきました。福島県内の社協からの応援や生活支援相談員等の設置が始まるなど、被災地の地域や社協が主体となった復興の歩みが進みつつあります。しかし、今後の復興への道のりは緒についたばかりです。社協ならではの「地域」に根ざした支援活動が期待されています。お互いに、今後とも早い復興を願って心から支援していきたいものです。

## 平成23年度 元気高齢者チャレンジ推進事業

# 『高齢者を中心とした地域貢献活動団体表彰式・事例発表会』を開催します。

県では、高齢者が中心になって各地域のさまざまな分野で、地域に貢献する活動を行っている団体を県下全域から募集し、次の7団体の表彰を決定しました。本会では県と共催で、これらの団体の表彰式、事例発表会、基調講演を行います。この機会に高齢者の方々のパワーを実感してみませんか？多くの皆様のご来場をお待ちしています。

**日時** 平成23年10月27日(木) 午後1時30分から

**場所** かごしま県民交流センター 県民ホール  
(鹿児島市山下町14-50 TEL099-221-6600)

**受賞団体** ①鹿児島地域 ②南薩地域 ③北薩地域  
④始良・伊佐地域 ⑤大隅地域  
⑥熊毛地域 ⑦大島地域  
から各々1団体が受賞します。  
\*決定次第、当会HPでお知らせします。

URL <http://www.kaken-shakyo.jp>

**基調講演** 講師：大原 タツ子氏  
(かごしま女性政策研究会副代表)  
演題：“高齢期をいきいきと”  
～一人ひとりが主役のまちづくり～

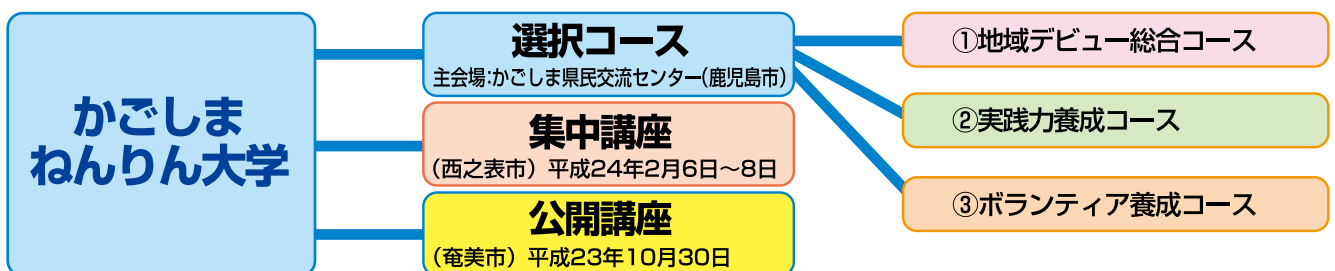


**お問い合わせ先** 鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部 TEL 099-250-7441

## 平成23年度「かごしまねんりん大学」が始まります

「共生・協働の地域社会づくり」の担い手としての高齢者リーダーの養成を行うため、鹿児島県が新たに開設する『かごしまねんりん大学』の運営について、本会が県からの委託を受けました。

これまでの本会の実績を活かしながら運営を行い、「かごしまねんりん大学」を修了された方が、地域において積極的な活動を行えるよう支援してまいります。



(※「選択コース」の受講生募集は終了しておりますのでご了承ください。)

**お問い合わせ先**

**社会福祉法人 鹿児島県社会福祉協議会 (長寿社会推進部)**

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1-7 県社会福祉センター内

TEL 099-257-5700 FAX 099-257-5707

E-mail [chouzyu1@kaken-shakyo.jp](mailto:chouzyu1@kaken-shakyo.jp) <http://www.kaken-shakyo.jp/>

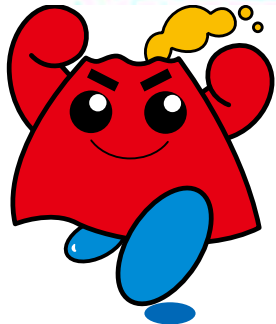
第24回全国健康福祉祭くまもと大会

ふれ愛

# ねんりんピック2011熊本

平成23年10月15日(土)～18日(火)

火の国に 燃えろ!ねんりん 夢・未来



今年の「ねんりんピック」は隣県の熊本で開催されます。  
鹿児島県選手団は、スポーツ・文化交流大会(21種目)に154名(予定)参加します。  
参加者の皆さんが好成績を残せるよう、ご声援をよろしくお願いします。

美術展、音楽文化祭やファッションショーなど様々なイベントも開催されます。

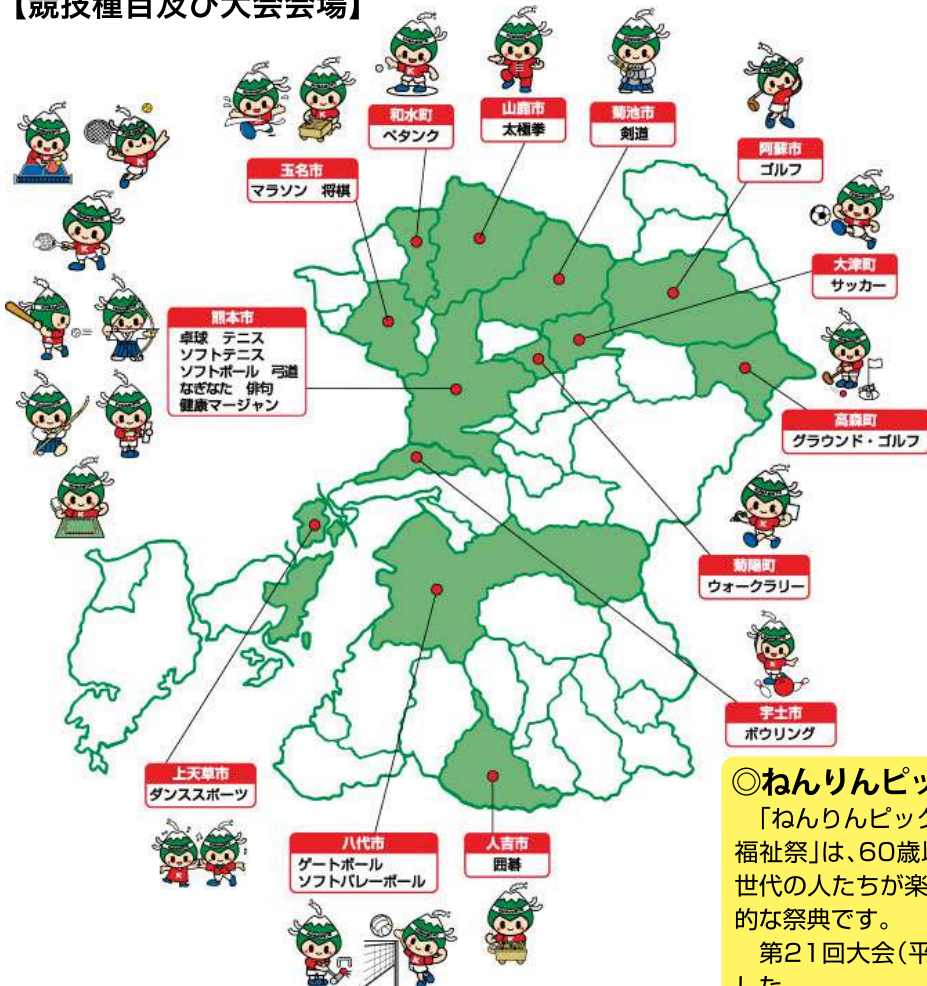
また、熊本県内各地で、子どもから高齢者までいっしょに楽しめる協賛イベントを計画しています。

詳しくは、こちらまで(URL <http://nenrinpic2011.jp/>)是非、熊本へお越しください!

大会マスコット  
(あそぼうけんた)  
ASO坊健太くん



## 【競技種目及び大会会場】



前回大会風景(ソフトテニス)



前回大会風景(サッカー)

## ◎ねんりんピックとは…

「ねんりんピック」の愛称で親しまれている「全国健康福祉祭」は、60歳以上の高齢者を中心として、あらゆる世代の人たちが楽しみ、交流を深めることができる総合的な祭典です。

第21回大会(平成20年度)は鹿児島県で開催されました。

# 「ロコモ」とは何ですか？

—寝たきり、要介護にならないために—

## はじめに

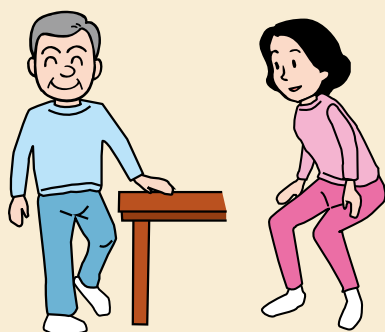
年をとってくると、足腰が弱ってきてさっさと歩けないとか、よろけやすくなったとか、何となく筋肉の衰えを感じてじれったい気持ちになることはないですか。また、膝が痛いとか、背中がまがってきたとかで十分な運動ができないようになります。こんな経験をお持ちの人は多いと思います。

ところで皆さん、「ロコモ」という言葉を耳にしたことはありませんか。最近新聞雑誌等でも良く見かけるようになりました。これは「ロコモティブシンドローム」の略で「運動器症候群」という日本整形外科学会が提唱した考え方です。

## 加齢と運動機能

年をとるにつれて運動に関する器官(手足や脊椎の骨・関節・筋肉・腱や靭帯・運動神経など)の働きが衰えてきます。また、骨粗鬆症や変形性関節症・関節リウマチ・脊椎圧迫骨折・大腿骨頸部骨折・腰部椎間板狭窄などの疾病が関係して、運動能力が著しく低下します。

一般に加齢に伴い心身機能は次第に衰えていくものです。運動能力にしても、筋肉の衰え・持久力の低下・運動スピードや反応の鈍さや粗雑さ・バランスの悪さなど避けられず、段々行動範囲が狭くなり、運動不足になりやすいものです。そしてついには閉じこもり状態にもなりかねませんし、最悪では要介護にもなりかねません。おまけにメタボや認知症があるとなおさらのことです。



## ロコチェック

このように運動器の障害は高齢者の要介護になる大きな原因ですので、そのため一般への啓蒙と予防対策を進めるために学会が提唱し、これを推進しているのです。

日本整形外科学会の「ロコモーションチェック」(ロコチェック)というのがあり、7つの項目が挙げられています。①片脚立ちで靴下が履けない、②家の中でつまずいたり滑ったりする、③階段を上るのに手摺が必要である、④横断歩道を青信号で渡り切れない、⑤15分くらい続けて歩けない、⑥2kg程度(1リットル牛乳2個程度)の買い物をして持ち帰るのが困難である、⑦家でのやや重い仕事(掃除機の使用、布団の上げ下ろしなど)が困難である、などですが思い当たる節はないですか。どれかに当てはまればロコモであるとされています。

## ロコトレ

そこでお勧めしたいのは、ロコモーショントレーニング(ロコトレ)です。自分の状態を良く承知して行ってください。できれば医師に相談して始めてください。

①開眼片脚立ち(左右1分ずつ1日3回):目を開けて、片脚を上げます(床に着かない程度でよいです)。危ないのでつかまるものがある場所で行うこと。②スクワット:これは椅子に腰掛けるように、お尻をゆっくり下ろします。膝は曲がっても90度を超えないようにします。ゆっくり5~6回繰り返し、1日3回行いましょう。色々な注意がありますので、専門の方に良く聞いて行ってください。

鹿児島シルバー110番  
医療専門相談員 医師 新村 健

# 福祉サービス運営適正化委員会

## 福祉サービスに関する苦情等の受付状況

運営適正化委員会は、社会福祉法第83条に基づき、平成12年度から鹿児島県社会福祉協議会に設置されている福祉サービスの苦情相談窓口です。

これまで、運営適正化委員会に寄せられた苦情等の受付件数は、表1のとおりで、延べ298件の苦情が寄せられています。その中でも、高齢者分野と障害者分野が大半を占めています。(表2)

また、表3は、苦情の内容を分類したのですが、「職員の接遇」や「サービスの質や量」に関することが全体の48%、144件となっています。

苦情の申出については、事業者段階で申出人、苦情受付担当者、苦情解決責任者、また必要があれば公正・中立な立場の第三者委員も一緒に話し合いによる解決を図ることが第一義です。それでも解決しない場合や事業者直接向いにくい時に、運営適正化委員会へご相談いただくことになっています。

お気軽にお問い合わせください。

表1

苦情等の受付件数（年度別）

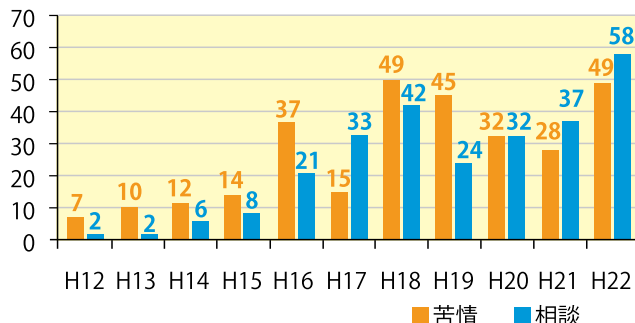


表2

福祉サービスの分野

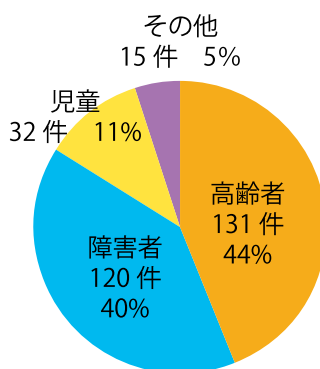
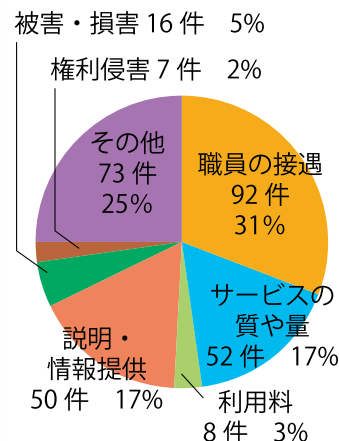


表3

苦情の内容



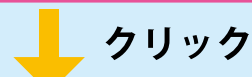
職場内での研修教材・資料として

## “苦情解決をはかるヒント”の活用を

運営適正化委員会では、平成22年度に“苦情解決をはかるヒント”を作成し、ホームページで公開しています。事業所内での相談や苦情の受付から解決までの流れや各担当者の役割と機能、苦情対応のポイント、記録の活用などをまとめています。ぜひ、職場内での研修教材や資料として、ご活用ください。



運営適正化委員会



業務報告

他に報告書や事例集もあります

詳細は、ホームページをご覧ください ▶ <http://www.kaken-shakyo.jp/>

相談時間

月～金曜日 9:00～16:00  
(ただし、祝日・12/29～1/3除く)

相談方法

電話・来所・FAX・Eメール

福祉サービス運営適正化委員会

TEL 099-286-2200

FAX 099-257-5707

【事務局:鹿児島県社会福祉協議会 長寿社会推進部】県社会福祉センター5階

E-mail tekisei@kaken-shakyo.jp

～あなたの就職活動をお手伝いします!! 遠慮なくご参加ください～

平成23年度

# 福祉の職場 就職面談会

— 同時開催 — 求職登録・職場体験・資格取得等相談コーナー

福祉職場の人事担当者と求職者との個別面談会を県内各地域で開催します。



前年度「就職面談会」風景

**就職面談会** 13:00～16:00 (受付12:30～15:30)

**参加費** 無料(当日受付)(事前予約不要)

## 開催期日及び場所

開催地域	開催日	開催場所(開催施設)
始良・伊佐(霧島市)	平成23年9月22日(木)	霧島市国分シビックセンター
南薩(南さつま市)	10月14日(金)	ふれあいかせだ「いにしへホール」
北薩(薩摩川内市)	11月25日(金)	ホテル太陽パレス
大隅(鹿屋市)	平成24年1月19日(木)	さつき苑

## 福祉の職場 面談会

開催地域	開催日	開催場所(開催施設)
鹿児島(鹿児島市)	平成24年2月3日(金)	県民交流センター



**参加対象者** 福祉の職場への就職希望者

(一般の方及び大学・短大・専門学校生等<平成24年3月卒業予定者>)

**主催** 鹿児島県、鹿児島県社会福祉協議会

**お問い合わせ先** 鹿児島県社会福祉協議会福祉人材・研修センター

〒890-8517 鹿児島市鴨池新町1番7号  
☎099-258-7888 FAX 099-250-9363  
E-mail:jinzai4@kaken-shakyo.jp

## 福祉職場就職支援講座のご案内

福祉職場に就職・復職を希望する方を対象に、福祉についての理解を深めていただくとともに、福祉職場で働くために必要な知識や技術及び就職活動の方法等を学ぶための講座を開催します。

**日時** 平成23年11月5日、12日、19日の各土曜日(全4回)  
午後1:15～4:30

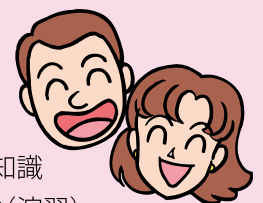
**会場** かごしま県民交流センター 中研修室、介護実習室

**定員** 40人 **受講料** 無料

**お問い合わせ先** 鹿児島県社会福祉協議会 福祉人材・研修センター  
☎099-258-7888

●講座内容(予定)

- ①福祉の基礎知識
- ②看護・介護の基礎知識
- ③介護の方法と体験(演習)
- ④福祉職場就職相談会  
(講話及び個別相談会)





## 宮城県南三陸町の施設に福祉専門職を派遣しています

社会福祉施設経営者協議会では、南三陸町の「デイサービスセンターうたつ」に二人一組の福祉ボランティアを交代で派遣しています。

第1陣は、特別養護老人ホーム「清谿(せいけい)園」の介護福祉士、加治木徹也さんと永里真一さんで、7月19日から28日までセンターに寝泊まりしながら介護を手助けしました。

この支援は、今のところ10月6日までの予定で、「清谿園」に続き、これまで「デイサービスセンターさざんか園」「にじの郷たにやま」「はっぴー園」「さつま園」が、各2名ずつの職員を派遣しました。9月5日から「やすらぎの里」「賀寿園」「鹿屋長寿園」が続きます。

「うたつ」は、今回の災害により職員が約半数に減ったため十分な介護ができなくなったことから派遣を要請してきたものです。派遣する職員はそれぞれが資格を持つなどの経験者で、着任したその日から食事や入浴の介助、送迎の付き添いなどかねての業務と同じように従事しています。世話をしながらの会話では、鹿児島島の暖かさや桜島の噴火の話などをしたりして交流を深めており、それぞれ10日間の日程が終了し施設を後にする際は、親しくなったお年寄りが名残が惜しいと涙ぐまれるとのことでした。

今回の派遣は、同協議会が被災施設の業務をボランティア方式で支援しようと、さる7月上旬に県社協と合同で調査団を派遣して、各施設を訪問し各協議会役員とも協議してニーズの把握に努めた結果によるものです。

伊東安男会長は、「経営協として組織だって派遣するのは全国でも珍しく、社会福祉法人による社会貢献の一例となるもので、今後についても被災地のニーズに応じた支援を心がけたい」と話しています。



引継ぎを済ませた「清谿園(左)」と「さざんか園(右)」の派遣職員。中央は伊東会長

## 第60回鹿児島県児童福祉施設球技大会

### 県内の児童養護施設の選手達が桜島で熱戦を繰り広げる!!

輝く青空の下、60回目の節目となる「鹿児島県児童福祉施設球技大会」が7月21日・22日の2日間にわたり、桜島総合体育館・溶岩グラウンド・小野公園野球場で熱戦が繰り広げられました。

県内の児童養護施設から選抜軟式野球11チーム、親睦野球4チーム及び選抜バレーボール8チーム、親睦バレーボール4チームが集い、開会式では、選手の代表2名から東日本大震災の被災者にプレーを通じて元気が届けられるよう、最後まであきらめずに頑張ると力強く選手宣誓がありました。

試合は、どのチームも選手達が今までの練習の成果を遺憾なく発揮し、コート・グラウンドの中で随所に好セーブ、ファインプレーが繰り返され、期待通りの一球一打の好ゲームが展開された素晴らしい大会でした。

特に選抜軟式野球の準決勝・決勝戦の3試合は1点を争う接戦となりました。

なお、選抜軟式野球と選抜バレーボールの優勝・準優勝チームは、8月17日から長崎県で開催された九州大会に鹿児島県代表として出場しました。



#### 軟式野球の部

選抜 ★優勝 白百合の寮  
★準優勝 若葉学園

親睦 ★優勝 白百合の寮  
★準優勝 たらちね学園

#### バレーボールの部

選抜 ★優勝 大村報徳学園  
★準優勝 慈恵学園

親睦 ★優勝 仁風学園  
★準優勝 三州原学園

#### 九州大会速報!!

男子:軟式野球の部

★優勝 白百合の寮  
★準優勝 若葉学園

女子:バレーボールの部

★準優勝 大村報徳学園

## 9月～11月 介護講座のご案内

講座名	日時	内 容	場 所	受講料等
介護者の健康管理教室	9月 4日(日) 13:00～16:00	ヨガ呼吸法によるリフレッシュなど	かごしま県民 交流センター	500 円
やさしい介護教室	9月10日(土) 10月 8日(土) 10月21日(金) 9:30～16:30	高齢者の生活・行動心理、介護保険制度、身の回り介護、栄養と食事介助、床づれ予防など (注1)	かごしま県民 交流センター	半日当り 300 円
介護職基礎研修	9月14日(水) 9月15日(木) 9:30～16:30	高齢者の生活・行動心理、腰痛予防、嚥下障害、移動・移乗介助など	かごしま県民 交流センター	2,000 円
介護食講座	10月 1日(土) 10:00～16:00	介護食 と高齢期の栄養改善、調理実習	かごしま県民 交流センター	1,500 円
認知症講座	10月29日(土) 13:30～16:30	認知症高齢者への理解	かごしま県民 交流センター	500 円
介護地域講座(南九州市)	11月 5日(土) 9:30～16:30	介護保険の理解、起居・移乗、認知症の理解・ケアなど	市民交流センター ひまわり館	500 円
「介護の日」関連イベント	11月11日(金) 10:00～16:00	介護技術体験、介護相談、認知症相談、健康相談など	かごしま県民 交流センター	無料
福祉用具・住宅改修研修	11月13日(日) 9:30～16:30	福祉用具・住宅改修の知識・技術、住環境整備など	かごしま県民 交流センター	4,000 円
介護職スキルアップ研修(口腔ケア)	11月24日(木) 10:00～16:30	口腔ケア 嚥下障害	かごしま県民 交流センター	4,000 円
訪問介護サービス提供責任者研修	11月25日(金) 11月26日(土) 9:30～16:00	サービス提供責任者の役割・機能など	かごしま県民 交流センター	10,000 円

(注1)：各開催日の午前のみ、午後のみ受講も可能です。

\*申込み方法等の詳しいことについては、鹿児島県介護実習・普及センターへお問い合わせください。

**お問い合わせ先** **鹿児島県介護実習・普及センター**  
(運営：社会福祉法人鹿児島県社会福祉協議会)  
〒892-0816 鹿児島市山下町14番50号  
(かごしま県民交流センター内)

**TEL** 099-221-6616  
**FAX** 099-239-0384  
**E-mail** kaigo@kagoshima-pac.jp  
**URL** http://www.kagoshima-pac.jp

## 排泄ケア ワンポイント アドバイス

- ・その人らしさを守るために
- ・「排泄ケアは大変な仕事」と自分を認めて！（負担を軽く！心も軽く！）

面倒だと感じたり、背を向けたくするのは決していけないことではないのです。  
まずはご自身の正直な気持ちをうけいれ、努力を認めましょう！  
おむつのサイズは合ってますか？サイズが合っていないと尿もれます。  
尿漏れするからといって、パットを重ねると隙間ができてまた漏れます。  
原則：アウターにインナー 1枚です。(例外あり) 次回につづく・・・

**ACA** 38th 老人と障害者の自立のための  
**国際福祉機器展 H.C.R.2011**  
Int. Home Care & Rehabilitation Exhibition 2011

**会 期** 2011年10月5日(水)～7日(金)  
**開場時間** 10:00～17:00  
**会 場** 東京国際展示場「東京ビッグサイト」(東京・有明)  
**入 場 料** 無料・登録制(一部のプログラムは有料)  
**出 展** 12か国・1地域490社より  
約20,000点の福祉機器を総合展示  
**WEBサイト** <http://www.hcr.or.jp>

**H.C.R.2011事務局** 〒100-8980  
東京都千代田区霞が関3-3-2 新霞が関ビル  
(財)保健福祉広報協会 Tel. 03-3580-3052 / Fax. 03-5512-9798

### ●開催内容(予定)

- 福祉機器約20,000点を総合展示
- 国際シンポジウム:  
「英国のキャメロン改革と社会保障制度」(6日)を開催。
- ふくしのスキルアップ講座:  
院内感染予防、高齢者の住宅、社会福祉法人の会計など保健・福祉・介護をテーマに連日開催。
- 障害児のための「子ども広場」:  
子ども用福祉機器相談・療育相談も実施。
- ふくしの相談コーナー:福祉機器などの相談コーナーを設置。
- 福祉機器開発最前線:研究・開発中の機器や新製品を紹介。
- あるテク講座:  
携帯電話など身近にあるテクノロジーの福祉的利用方法について解説・実演。
- 高齢者の生活支援コーナー:高齢者の日々の生活を便利にするグッズや工夫がなされた製品を紹介。

その他、多彩なプログラムを実施。

\*プログラムは変更されることがあります。  
最新情報と詳細はH.C.R.Web(<http://www.hcr.or.jp>)サイトでご確認ください。

県共同募金会からの  
お知らせ

地域の福祉、みんなで参加



☎ 099 (257) 3750  
URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>

**赤い羽根共同募金運動が始まります**

運動期間 10月1日～12月31日

今年も皆様のご協力をお願いいたします。

赤い羽根共同募金運動は、昭和22年に始まり、今年で65回目を迎えます。これまで県民の皆様の善意に支えられ、地域福祉の向上のため一定の役割を果たして参りました。皆様方のご支援・ご協力に心から感謝申し上げます。

また、本年は、東日本大震災の義援金に、皆様からたくさんの温かいご支援をいただいておりますことにも併せて感謝申し上げます。

共同募金は、災害時のボランティアセンター設置・運営等、被災地の支援にも役立っています。

今年も10月1日から12月31日まで、赤い羽根共同募金運動が全国一斉に展開されます。この募金が「じぶんの町を良くするしくみ」として、県民の皆様のために活かされますよう、皆様の一層のご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。



平成23年度ポスター

〈一般募金の配分計画〉

区分	金額(千円)	内容
社会福祉協議会活動助成	168,969	県・市町村における社会福祉協議会が行う地域福祉サービス事業、車両整備等
社会福祉施設助成	12,000	高齢者・児童・障害児(者)等各種施設の増改築・補修、設備・備品・車両等の整備
社会福祉団体等助成	27,550	民間福祉団体、地域福祉活動に取り組むグループ、町内会・自治会等への助成
災害見舞金	4,244	火災、その他の災害被災者、遺族への見舞金
次年度運動準備金	25,000	次年度の募金運動準備経費
募金運動推進経費	26,123	募金運動資材購入、各支会分会等運動推進経費
災害等準備金積立金	9,000	大規模災害等に備える積立金
合計	272,886	

23年度共同募金目標額

一般募金	262,673,000円
歳末たすけあい募金	43,327,000円
合計	306,000,000円

※共同募金の目標額は、社会福祉施設・団体等からの助成要望や、前年度の募金実績等に基づいた助成計画を参考に設定しています。

下記事業の助成金申請を受け付けます。

事業名	地域福祉活動支援事業	新安心・安全福祉のまちづくり支援事業
助成対象	県内で地域福祉活動に取り組むグループ・団体等	共同募金活動を実施している町内会等
受付窓口	鹿児島県共同募金会	各支会分会(市町村社会福祉協議会内)
受付期間	23年10月3日～11月30日	
助成決定	24年4月	
事業実施	24年4月～25年3月	

※詳しくは県共同募金会 (URL <http://www.minc.ne.jp/akaihane>) または各支会分会(市町村社会福祉協議会内)にお尋ねください。

〈歳末たすけあい募金の配分計画〉

区分	金額(千円)	内容
地域歳末たすけあい	38,327	地域で支援を必要とする方がたへの金品贈呈、給食・入浴サービス、サロン事業等
NHK歳末たすけあい	5,000	児童福祉施設、グループホーム等へ見舞品贈呈等
合計	43,327	

※配分計画が目標額を上回るのは、前年度の繰越金などが含まれるためです。



## みなさまのご厚意に感謝いたします。



次の方がたから、寄付金等のご厚意が本会に寄せられました。  
ありがとうございました。(平成23年7月～平成23年8月)

### ○アクサ生命保険株式会社 様



第23回チャリティボウリング大会の益金を  
寄付される

鹿児島支社長 横関満正 様(右)、  
鹿児島営業所 木原和代 様(左)、

### ○鹿児島県タクシー協会 様



写真左から「タクシーの日」実行委員長

増田 俊行 様  
 県タクシー協会 副会長 迫田 省三 様  
 薩摩川内市市協 会長 今別府哲矢 様  
 県タクシー協会 会長 羽仁正次郎 様  
 // 副会長 手打 一也 様

8月5日の「タクシーの日」を記念し、社会貢献活動の一環として、車いすを寄贈。

平成15年から今回までで累計110台。本年度は、鹿児島市、薩摩川内市、鹿屋市、枕崎市、南さつま市、霧島市、肝付町、瀬戸内町、喜界町、和泊町の10社協に寄贈。

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償

## ボランティア活動保険

全国170万人  
加入!!

<http://www.fukushihoken.co.jp>



### 特長は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

### ボランティア行幸用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

### 福祉サービス総合補償

ペルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

### 送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間保険料 | Aプラン... 280円 Bプラン... 420円 天災タイプもあります

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、取扱代理店にお問合せください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

社会福祉法人  
全国社会福祉協議会  
団体契約者

この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店 株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F

TEL: 03 (3581) 4667 FAX: 03 (3581) 4763

(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社

広報紙「ふくしのひろば」は  
本会のホームページでもご覧になれます。  
また、お問い合わせは総務部にて受け付けております。

TEL 099(257)3855 FAX 099(251)6779

E-mail [soumu4@kaken-shakyo.jp](mailto:soumu4@kaken-shakyo.jp)

★この広報紙は、共同募金会の協力を得て発行されています。